

別紙：住民等への防災情報伝達に関するアンケート結果

・ アンケート結果（回答状況・集計結果の提供希望）	・ ・ ・ ・ ・	P 3
・ 現在の設備状況について①（問 1）	・ ・ ・ ・ ・	P 4
・ 現在の設備状況について②（問 2）	・ ・ ・ ・ ・	P 5
・ 現在の設備状況について③（問 3）	・ ・ ・ ・ ・	P 6
・ 現在の設備状況について④（問 4 問 5）	・ ・ ・ ・ ・	P 7
・ 家屋系「住宅用火災警報器の活用」について①（問 6）	・ ・ ・ ・ ・	P 8
・ 家屋系「住宅用火災警報器の活用」について②（問 7）	・ ・ ・ ・ ・	P 9
・ 家屋系「住宅用火災警報器の活用」について③（問 8）	・ ・ ・ ・ ・	P 1 0
・ 家屋系「住宅用火災警報器の活用」について④（問 9）	・ ・ ・ ・ ・	P 1 1
・ 家屋系「住宅用火災警報器の活用」について⑤（問 1 0）	・ ・ ・ ・ ・	P 1 2
・ 施設系「非常放送設備の活用」について①（問 1 1）	・ ・ ・ ・ ・	P 1 3
・ 施設系「非常放送設備の活用」について②（問 1 2）	・ ・ ・ ・ ・	P 1 4
・ 施設系「非常放送設備の活用」について③（問 1 3）	・ ・ ・ ・ ・	P 1 5
・ 施設系「非常放送設備の活用」について④（問 1 4）	・ ・ ・ ・ ・	P 1 6
・ 家屋系、施設系、共通の設問①（問 1 5）	・ ・ ・ ・ ・	P 1 7
・ 家屋系、施設系、共通の設問②（問 1 6）	・ ・ ・ ・ ・	P 1 8
・ 家屋系、施設系、共通の設問③（問 1 7）	・ ・ ・ ・ ・	P 1 9

◇アンケート結果（回答状況・集計結果の提供希望）

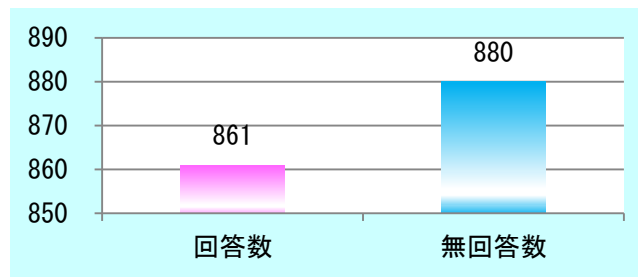
1. アンケート回答状況について

アンケート対象1,741自治体に対し、回答数は861件であり、回答割合としては49%であった。

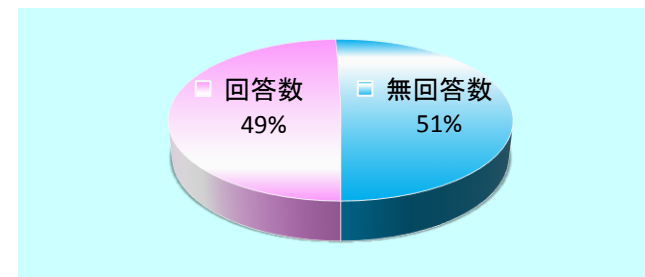
◇回答結果◇

	回答数	無回答数	合計
件数	861	880	1,741
割合	49%	51%	100%

◇回答件数グラフ◇



◇回答割合グラフ◇



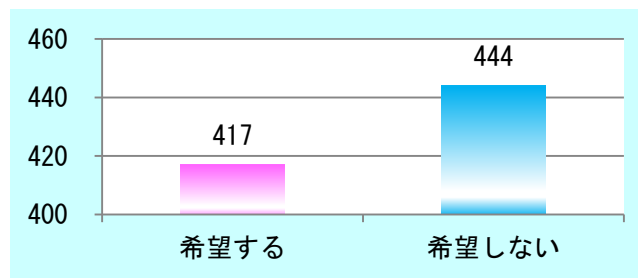
2. 集計結果の提供希望について

アンケート集計結果の提供希望については、希望するが417件であり、回答割合の48%であった。

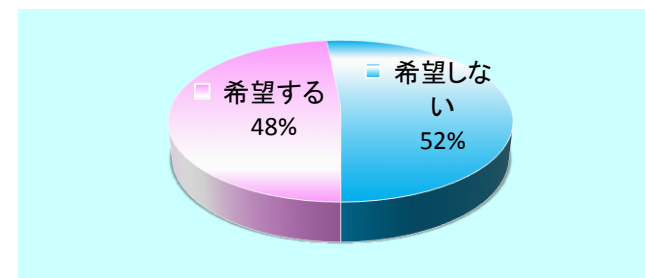
◇回答結果◇

	希望する	希望しない	合計
件数	417	444	861
割合	48%	52%	100%

◇回答件数グラフ◇



◇回答割合グラフ◇



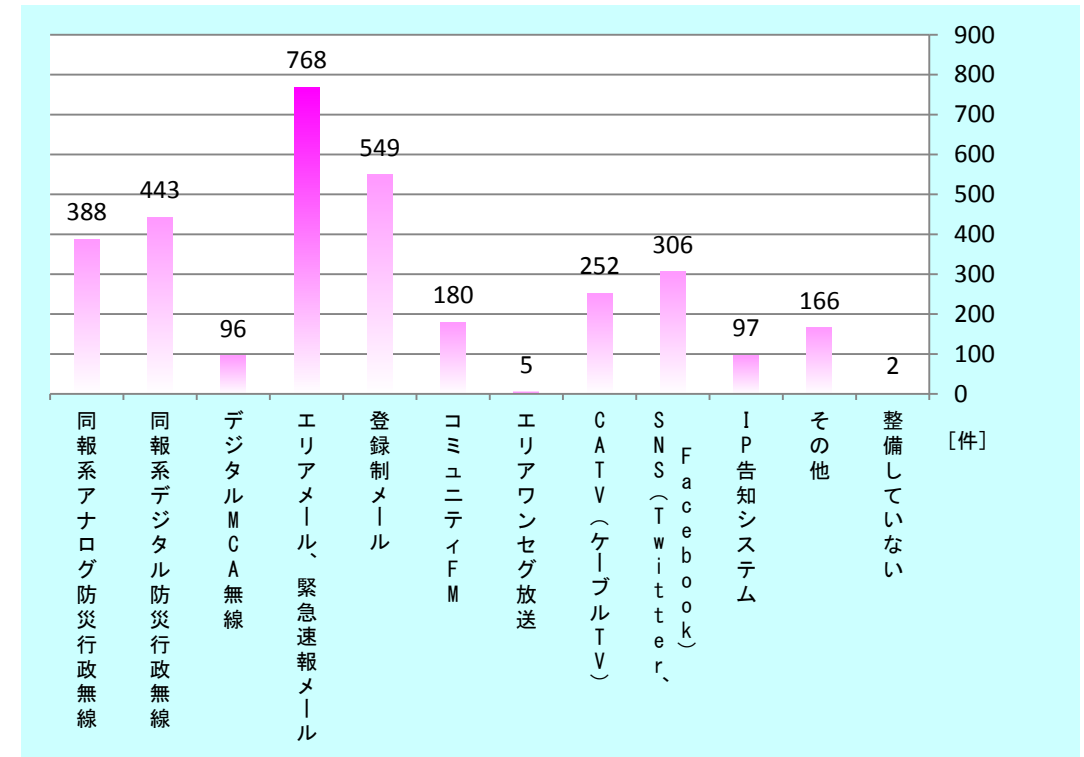
◇アンケート結果 現在の設備状況について①

問1. 設備活用状況

◇問1. 回答結果◇ (対象：全対象)

問1.	住民への防災情報伝達のため、現在ご利用されている設備に該当する口にチェックを付けてください。(複数回答可)	
1-1	同報系アナログ防災行政無線	388
1-2	同報系デジタル防災行政無線	443
1-3	デジタルMCA無線	96
1-4	エリアメール、緊急速報メール	768
1-5	登録制メール	549
1-6	コミュニティFM	180
1-7	エリアワンセグ放送	5
1-8	CATV (ケーブルTV)	252
1-9	SNS (Twitter、Facebook)	306
1-10	IP告知システム	97
1-11	その他 ※回答例は欄外記載	166
1-12	整備していない	2
合計		3,252

◇問1. 回答件数グラフ◇



※1-11 その他詳細 (回答例)

- ・ホームページ
- ・スマートフォン向けアプリ
- ・広報車
- ・Lアラート
- ・TV
- ・電話
- ・ . . 等

◇アンケート結果 現在の設備状況について②

問2. 設備更改検討状況

◇問2. 回答結果◇ (対象：全対象)

問2.	上記設備の更改の検討状況について、該当する□にチェックを付けてください。	
2-1	設備の全面更改を検討している	166
2-2	一部設備の増強（伝達手段の追加）を検討している	199
2-3	設備の更改や増強は、現在予定していない	486
2-4	未記入・不明	10
合計		861

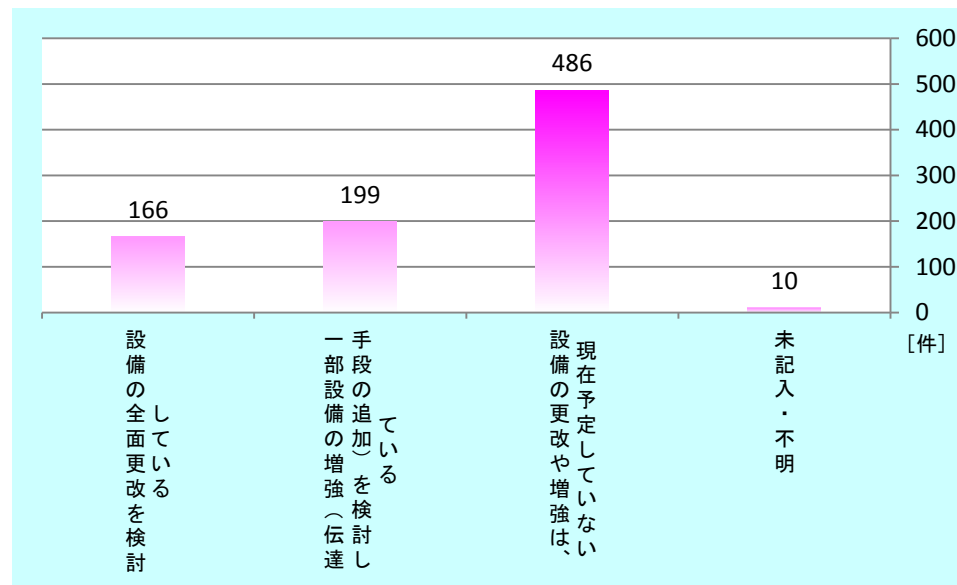
※2-2 検討中の手段について詳細（回答例）

- ・ 同報系デジタル防災行政無線
- ・ SNS
- ・ コミュニティFM
- ・ ・ ・ 等

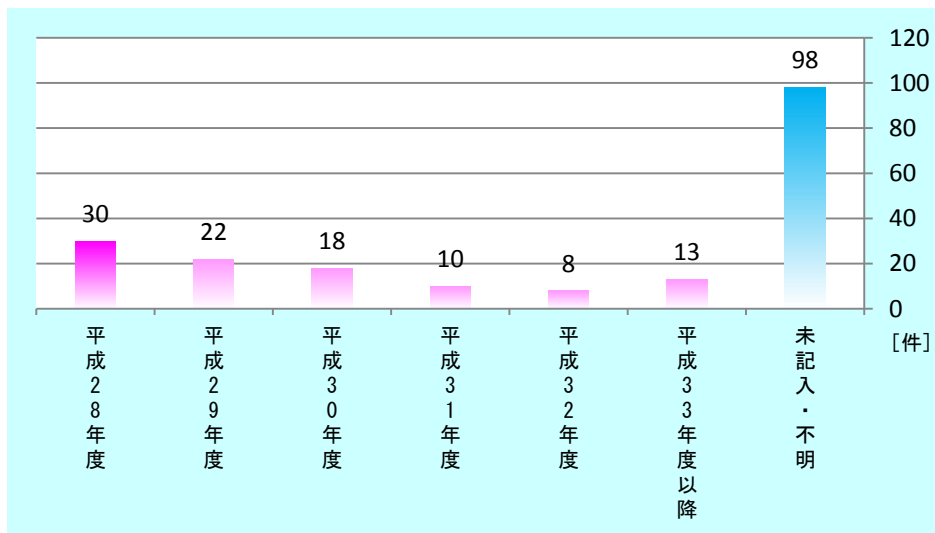
◇問2-1. 回答結果◇ (2-1チェック追加質問)

2-1	具体的な予定時期がある場合はご記入ください 予定時期（平成 年度）	
①	平成28年度	30
②	平成29年度	22
③	平成30年度	18
④	平成31年度	10
⑤	平成32年度	8
⑥	平成33年度以降	13
⑦	未記入・不明	98
合計		199

◇問2. 回答件数グラフ◇



◇問2-1. 回答件数グラフ◇ (2-1チェック追加質問)



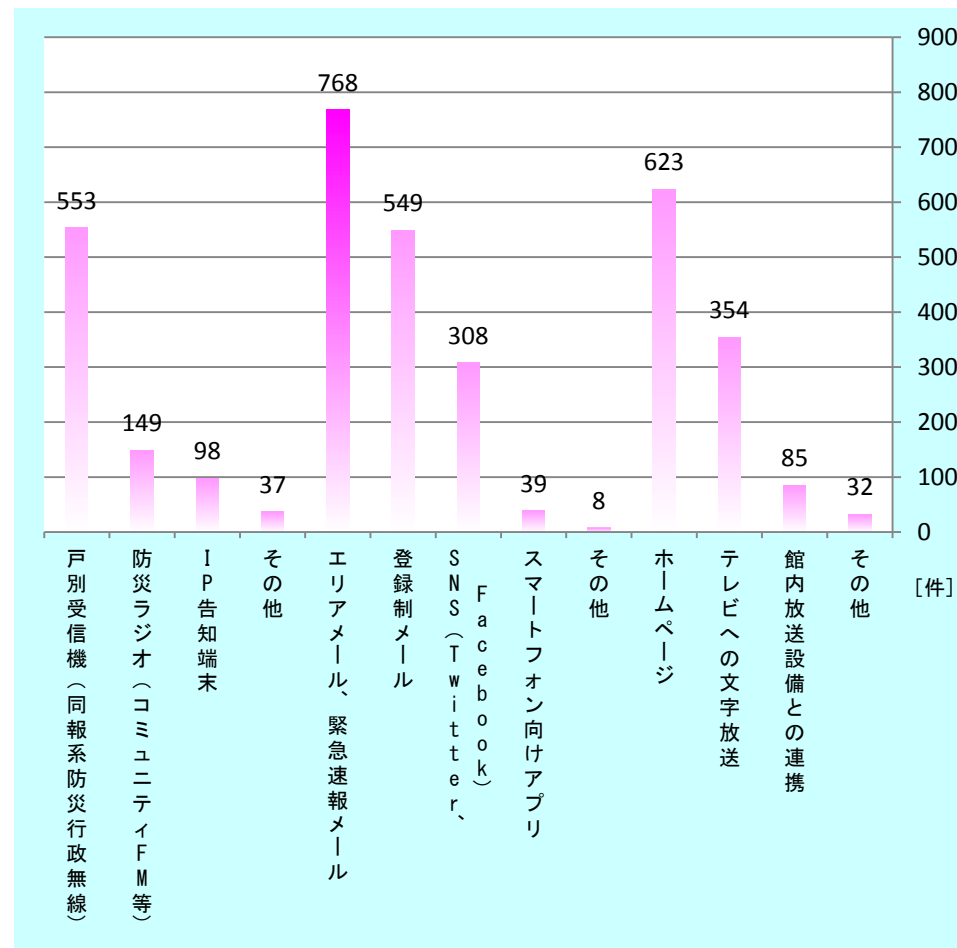
◇アンケート結果 現在の設備状況について③

問3. 屋内防災情報伝達

◇問3. 回答結果◇ (対象：全対象)

問3.	屋内への防災情報伝達にあたり、ご活用している仕組みに該当する口にチェックを付けてください。(複数回答可)		
3-1	屋内 端末系	戸別受信機 (同報系防災行政無線)	553
3-2		防災ラジオ (コミュニティFM等)	149
3-3		IP告知端末	98
3-4		その他 ※回答例は欄外記載	37
3-5	スマート 携帯 電話 系	エリアメール、緊急速報メール	768
3-6		登録制メール	549
3-7		SNS (Twitter、Facebook)	308
3-8		スマートフォン向けアプリ	39
3-9		その他 ※回答例は欄外記載	8
3-10	その他 手段	ホームページ	623
3-11		テレビへの文字放送	354
3-12		館内放送設備との連携	85
3-13		その他 ※回答例は欄外記載	32
合計			3,603

◇問3. 回答件数グラフ◇



※3-4 その他詳細 (回答例)

- ・ FM告知端末
- ・ 有線放送
- ・ ・ ・ 等

※3-9 その他詳細 (回答例)

- ・ 電話応答サービス
- ・ アプリ
- ・ FAX
- ・ ・ ・ 等

※3-13 その他詳細

- ・ Lアラート
- ・ CATV
- ・ TVへのデータ放送
- ・ ・ ・ 等

◇アンケート結果 現在の設備状況について④

問4. 屋内端末設置状況

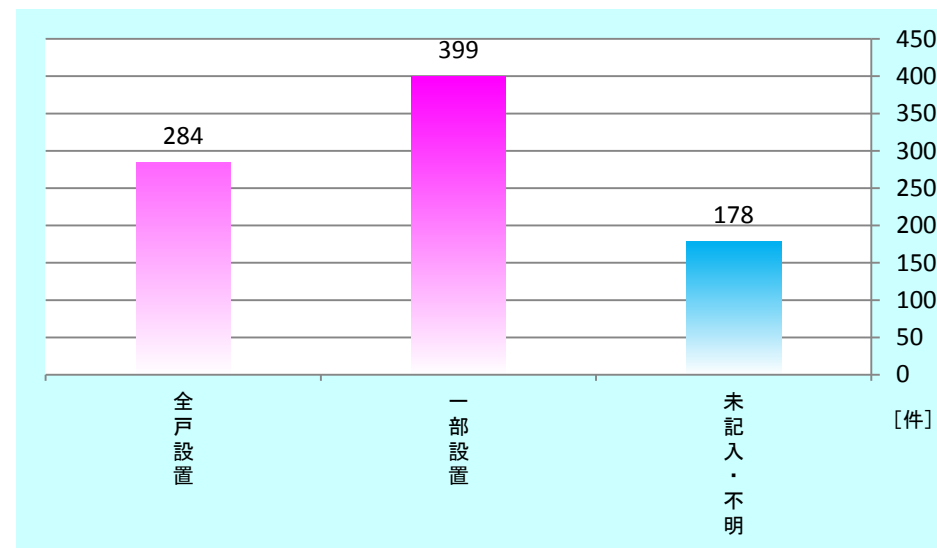
◇問4. 回答結果◇ (対象：問3特定回答者)

問4.	問3にて<屋内端末系>のいずれかにチェックされた方にお伺いします。端末の設置状況に該当する口にチェックを付けてください。	
4-1	全戸設置	284
4-2	一部設置	399
4-3	未記入・不明・問3該当なし	178
合計		861

※4-2 設置基準・台数 (回答例)

- ・ 個人申込み ・ 難聴地区
- ・ 公共施設 ・ 1組織1台 ・ ・ 等

◇問4. 回答件数グラフ◇

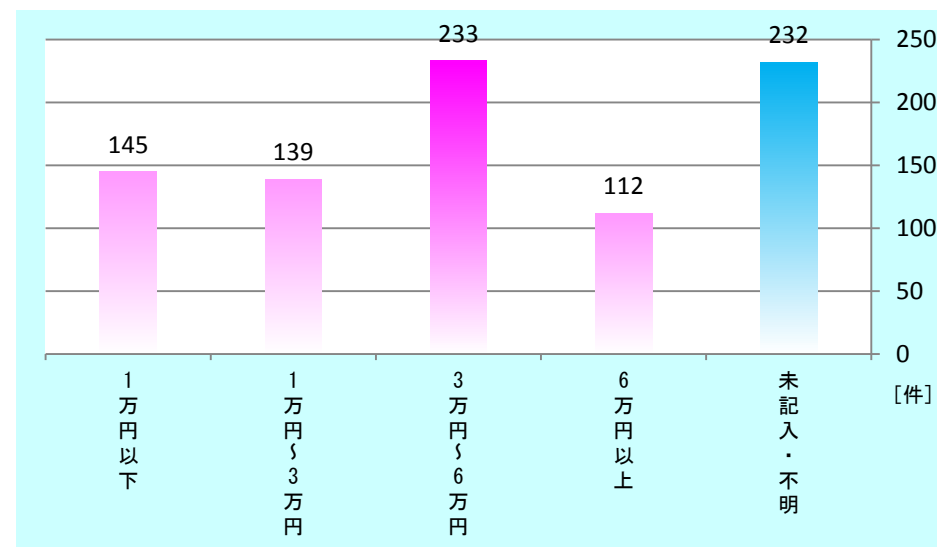


問5. 屋内端末費用状況

◇問5. 回答結果◇ (対象：問3特定回答者)

問5.	問3にて<屋内端末系>のいずれかにチェックされた方にお伺いします。端末設置にあたり、1世帯あたりに掛けている費用に該当する口にチェックを付けてください。	
5-1	1万円以下	145
5-2	1万円～3万円	139
5-3	3万円～6万円	233
5-4	6万円以上	112
5-5	未記入・不明	232
合計		861

◇問5. 回答件数グラフ◇



◇アンケート結果 家屋系「住宅用火災警報器の活用」について①

問6. 防災情報伝達対策

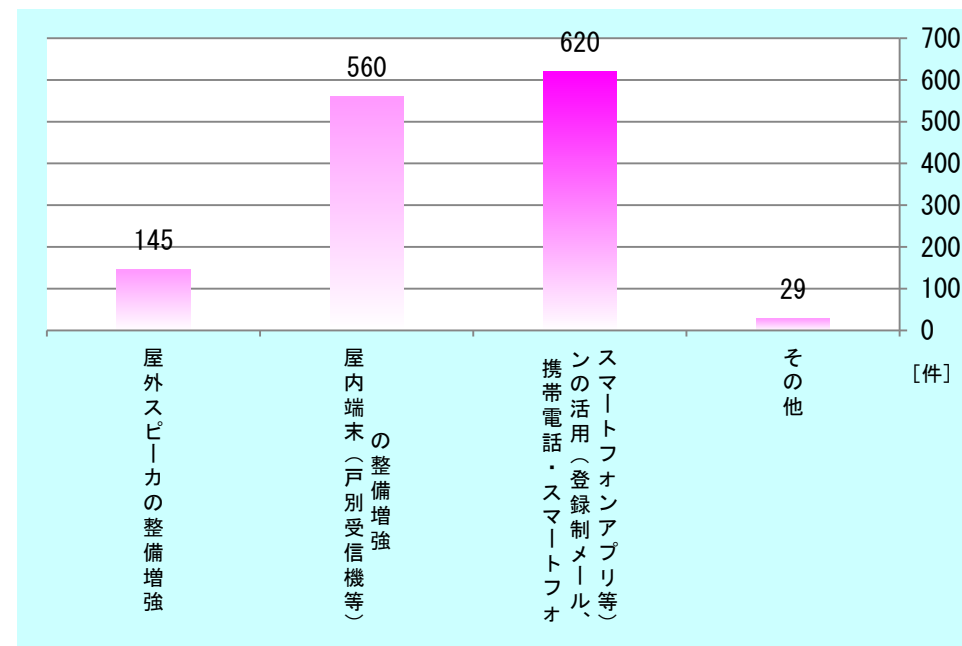
◇問6. 回答結果◇ (対象：全対象)

問6.	屋内への防災情報伝達のために、特に効果的な対策とお考えの項目について、□にチェックを付けてください。(複数回答可)	
6-1	屋外スピーカの整備増強	145
6-2	屋内端末(戸別受信機等)の整備増強	560
6-3	携帯電話・スマートフォンの活用(登録制メール、スマートフォンアプリ等)	620
6-4	その他 ※回答例は欄外記載	29
合計		1354

※6-4 その他詳細(回答例)

- ・ TV
- ・ 緊急告知ラジオ
- ・ Lアラート
- ・ ・ ・ 等

◇問6. 回答件数グラフ◇



◇アンケート結果 家屋系「住宅用火災警報器の活用」について②

問7. 火災警報器活用

◇問7. 回答結果◇ (対象：全対象)

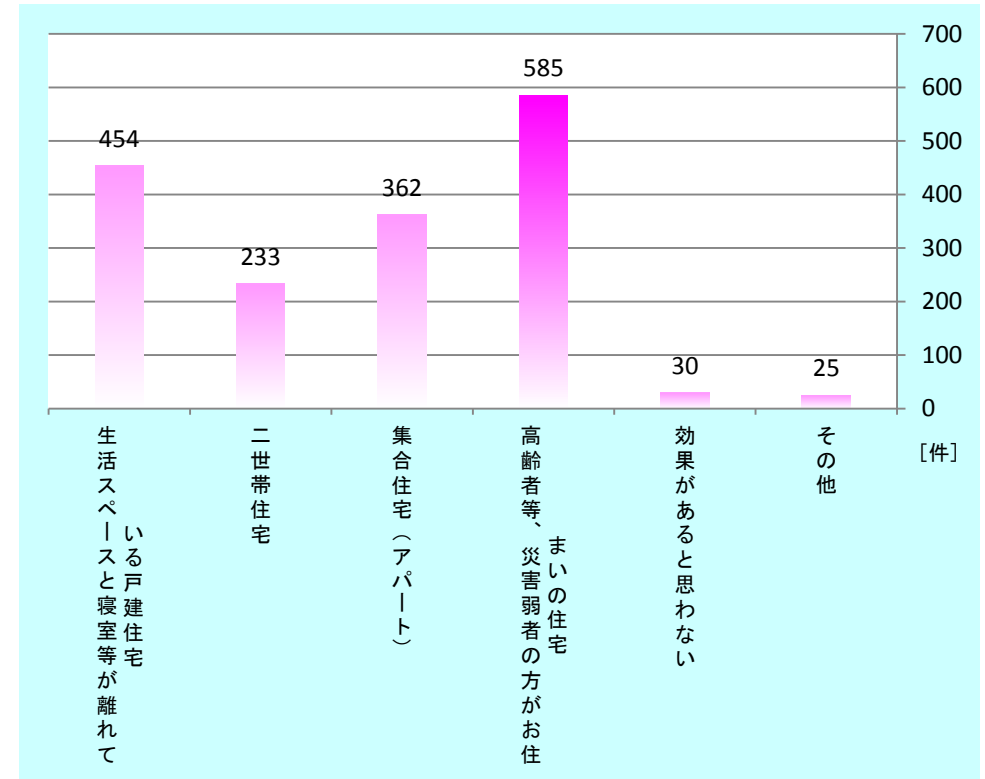
問7.	「住宅用火災警報器の活用」について、特に効果があると思われる住宅環境に該当する口にチェックを付けてください。(複数回答可)	
7-1	生活スペースと寝室等が離れている戸建住宅	454
7-2	二世帯住宅	233
7-3	集合住宅(アパート)	362
7-4	高齢者等、災害弱者の方がお住まいの住宅	585
7-5	効果があると思わない	30
7-6	その他 ※回答例は欄外記載	25
合計		1689

※7-6 その他詳細(回答例)

- ・屋内端末の配布が現実的でない
- ・コストによる
- ・わからない

・・・等

◇問7. 回答件数グラフ◇



◇アンケート結果 家屋系「住宅用火災警報器の活用」について③

問8. 優先定型音声

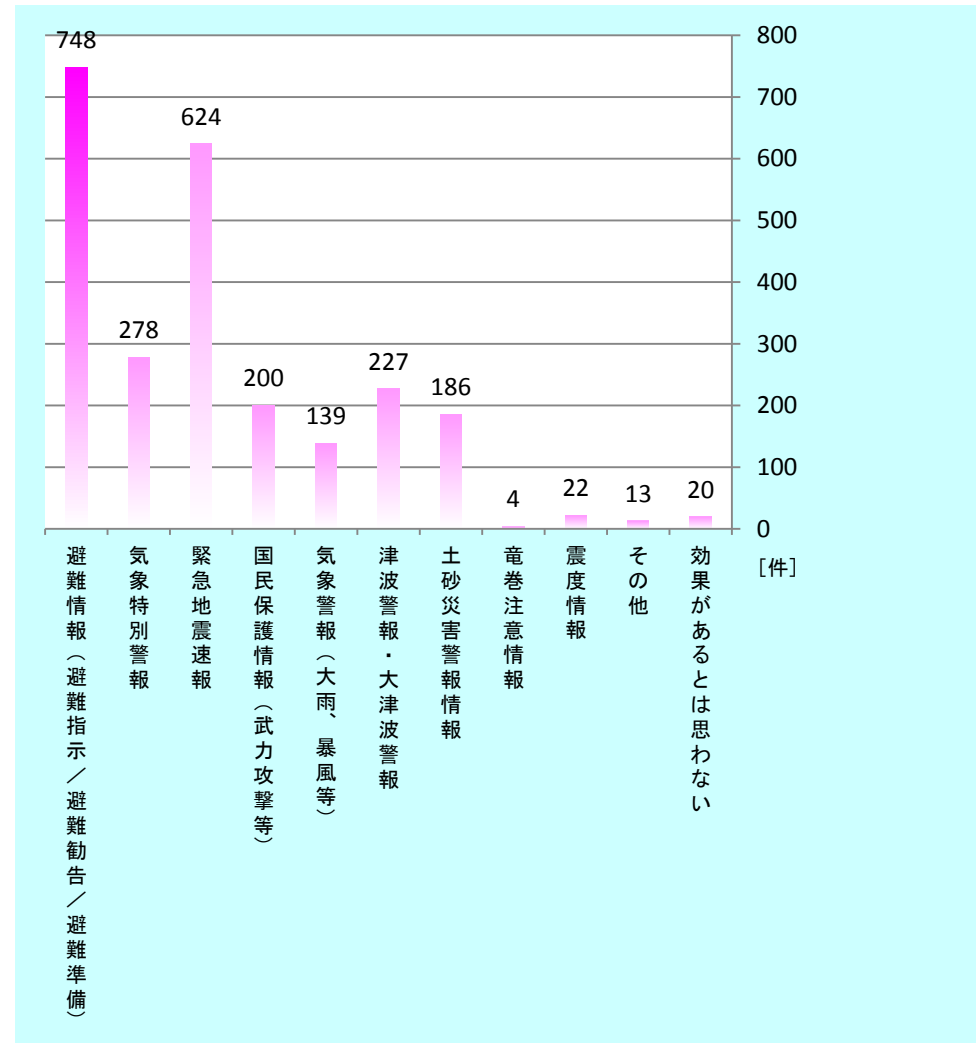
◇問8. 回答結果◇ (対象：全対象)

問8.	住宅用火災警報器に登録できる定型音声の数量に制限があると仮定した場合、特に優先すべきと思われる情報について、3つまで口にチェックを付けてください。	
8-1	避難情報（避難指示／避難勧告／避難準備）	748
8-2	気象特別警報	278
8-3	緊急地震速報	624
8-4	国民保護情報（武力攻撃等）	200
8-5	気象警報（大雨、暴風等）	139
8-6	津波警報・大津波警報	227
8-7	土砂災害警報情報	186
8-8	竜巻注意情報	4
8-9	震度情報	22
8-10	その他 ※回答例は欄外記載	13
8-11	効果があるとは思わない	20
合計		2,461

※8-10 その他詳細（回答例）

- ・ 3つまでにしぼれない
- ・ 他の媒体への誘導、案内
- ・ ・ ・ 等

◇問8. 回答件数グラフ◇



◇アンケート結果 家屋系「住宅用火災警報器の活用」について④

問9. 火災報知器課題

◇問9. 回答結果◇ (対象：全対象)

問9.	「住宅用火災警報器の活用」について、特に課題と思われる点について、該当する口にチェックを付けてください。(複数回答可)	
9-1	登録できる定型音声限定される場合は、意味が上手く伝わらないと思う	330
9-2	火災等と間違え、誤解を招く恐れがある。	563
9-3	他の手段のほうが良い、もしくは十分である ※回答例は欄外記載	83
9-4	その他 ※回答例は欄外記載	113
合計		1,089

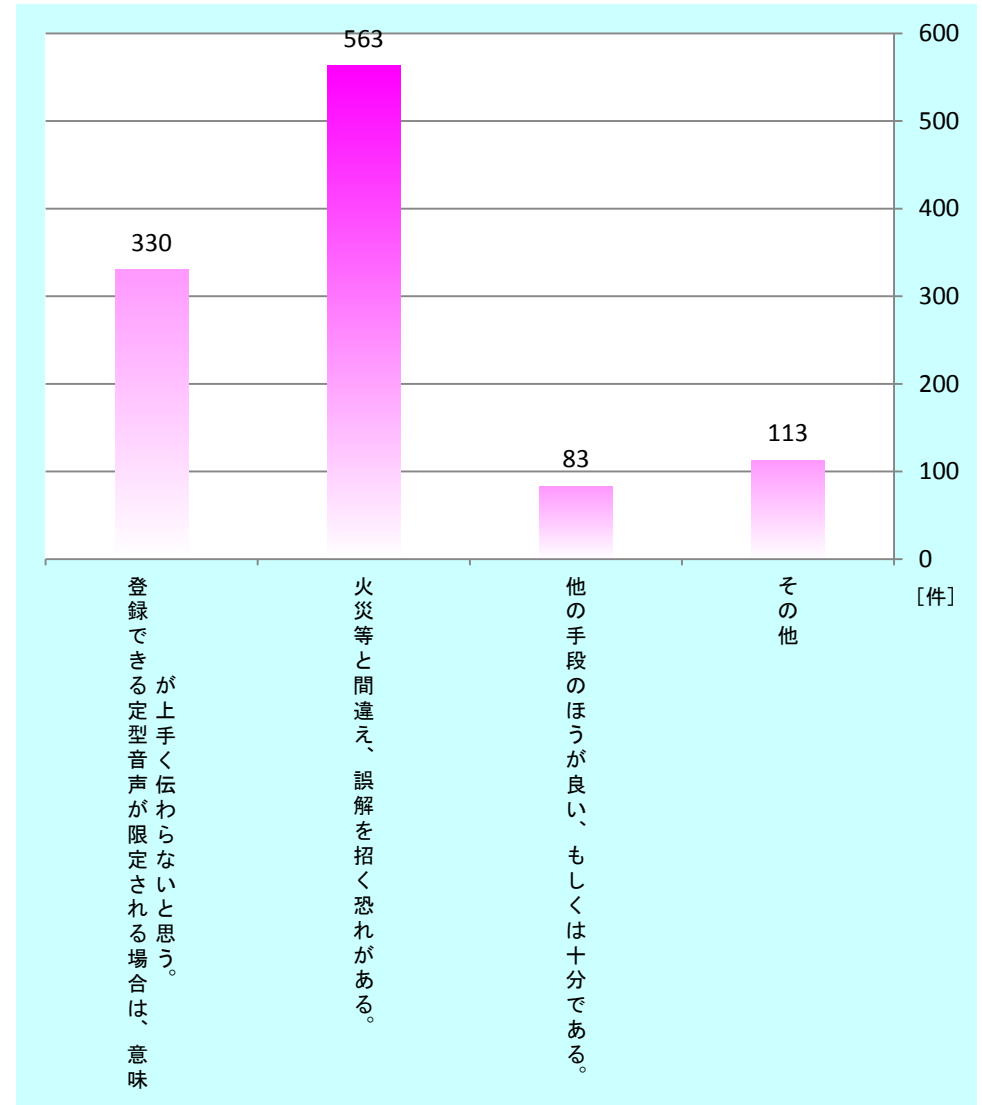
※9-3 他の具体的手段(回答例)

- ・ 戸別受信機
- ・ 緊急速報メール
- ・ 携帯電話、スマートフォンの活用 . . . 等

※9-4 その他詳細(回答例)

- ・ 費用
- ・ 屋内端末の普及が難しい
- ・ メンテナンス . . . 等

◇問9. 回答件数グラフ◇



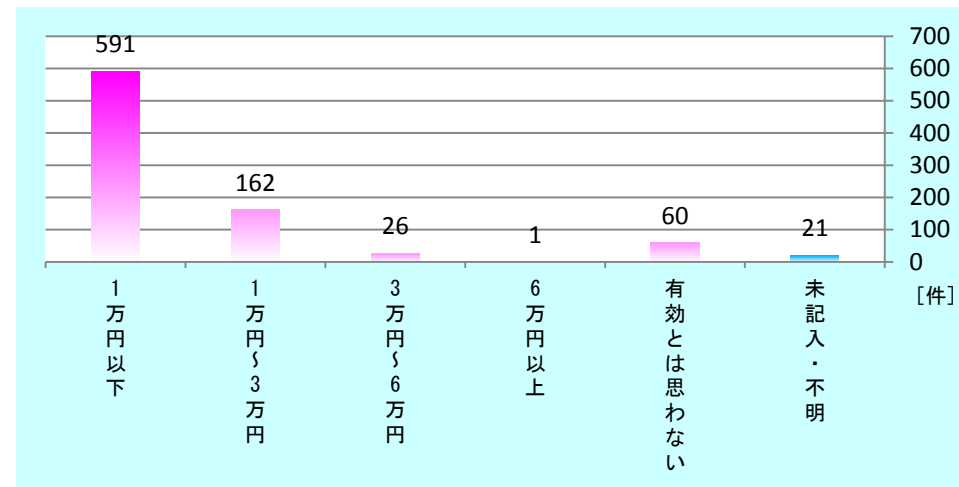
◇アンケート結果 家屋系「住宅用火災警報器の活用」について⑤

問10. 火災報知器費用

◇問10. 回答結果◇ (対象：全対象)

問10.	住宅用火災警報器との連動機能をもつ屋内端末について、端末設置にあたり1世帯あたりに掛けられる費用感について、該当する口にチェックを付けてください。	
10-1	1万円以下	591
10-2	1万円～3万円	162
10-3	3万円～6万円	26
10-4	6万円以上	1
10-5	有効とは思わない	60
10-6	未記入・不明	21
合計		861

◇問10. 回答件数グラフ◇



◇アンケート結果 施設系「非常放送設備の活用」について①

問11. 防災課題対象施設

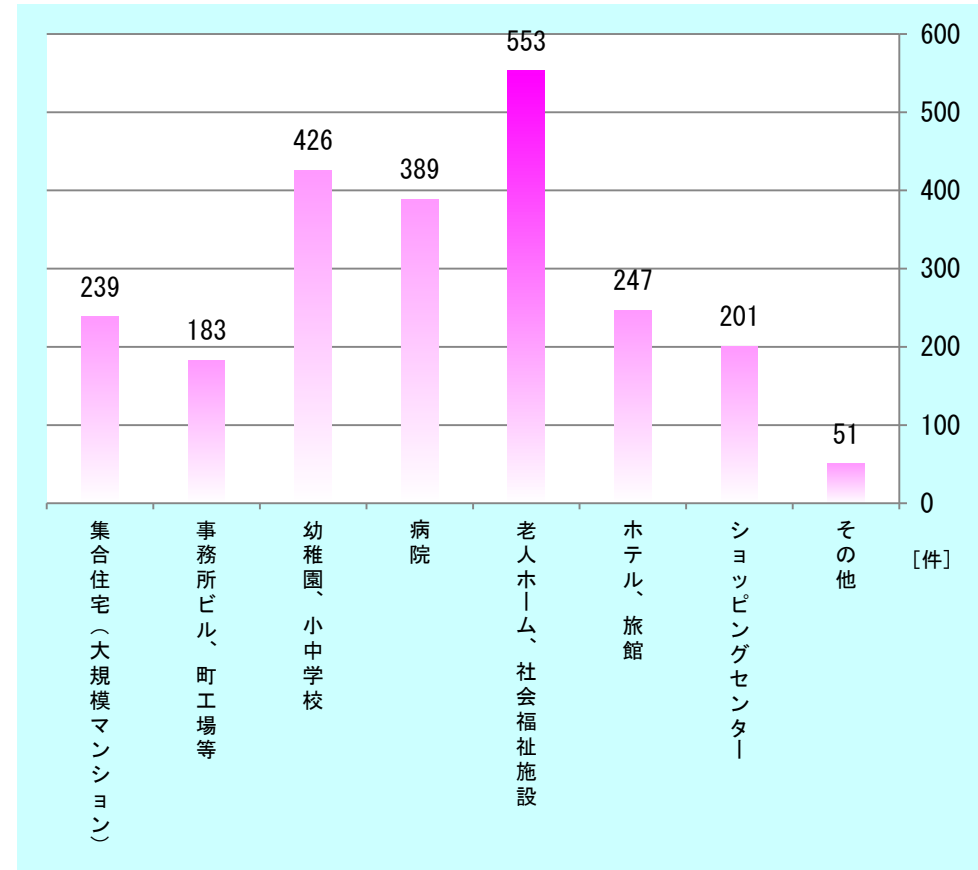
◇問11. 回答結果◇ (対象：全対象)

問11.	防災情報伝達にあたり、特に重要または課題を抱えている対象施設に該当する口にチェックを付けてください。(複数回答可)	
11-1	集合住宅(大規模マンション)	239
11-2	事務所ビル、町工場等	183
11-3	幼稚園、小中学校	426
11-4	病院	389
11-5	老人ホーム、社会福祉施設	553
11-6	ホテル、旅館	247
11-7	ショッピングセンター	201
11-8	その他 ※回答例は欄外記載	51
合計		2,289

※11-8 その他詳細(回答例)

- ・ 公共施設
- ・ 高齢者世帯
- ・ 地下街、地下施設
- ・ ・ ・ 等

◇問11. 回答件数グラフ◇



◇アンケート結果 施設系「非常放送設備の活用」について②

問12. 避難誘導時伝達範囲

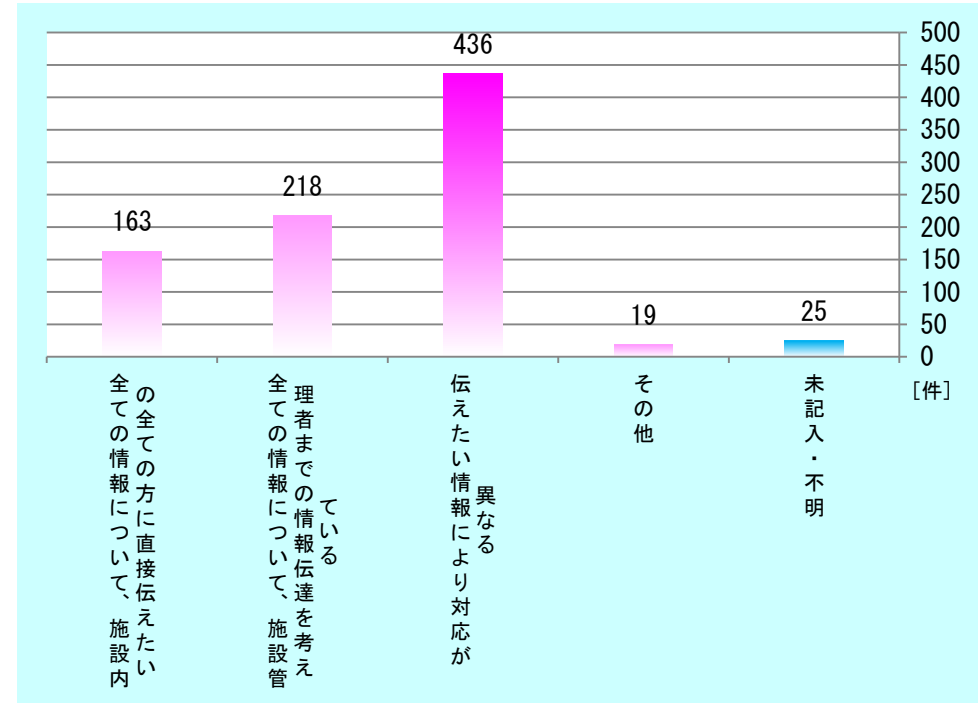
◇問12. 回答結果◇ (対象：全対象)

問12.	当該施設において施設管理者等の避難誘導を行う方がいる場合、地方公共団体から情報を届ける範囲はどのようにお考えでしょうか、該当する項目の口にチェックを付けてください。	
12-1	全ての情報について、施設内の全ての方に直接伝えたい	163
12-2	全ての情報について、施設管理者までの情報伝達を考えている	218
12-3	伝えたい情報により対応が異なる	436
12-4	その他 ※回答例は欄外記載	19
12-5	未記入・不明	25
合計		861

※12-4 その他詳細（回答例）

- ・施設により対応が異なる
- ・必要な情報を単的に伝えて、早めの避難を促す
- ・防災行政無線等を使って周知
- ・ ・ 等

◇問12. 回答件数グラフ◇



◇アンケート結果 施設系「非常放送設備の活用」について③

問13. 直接伝達情報

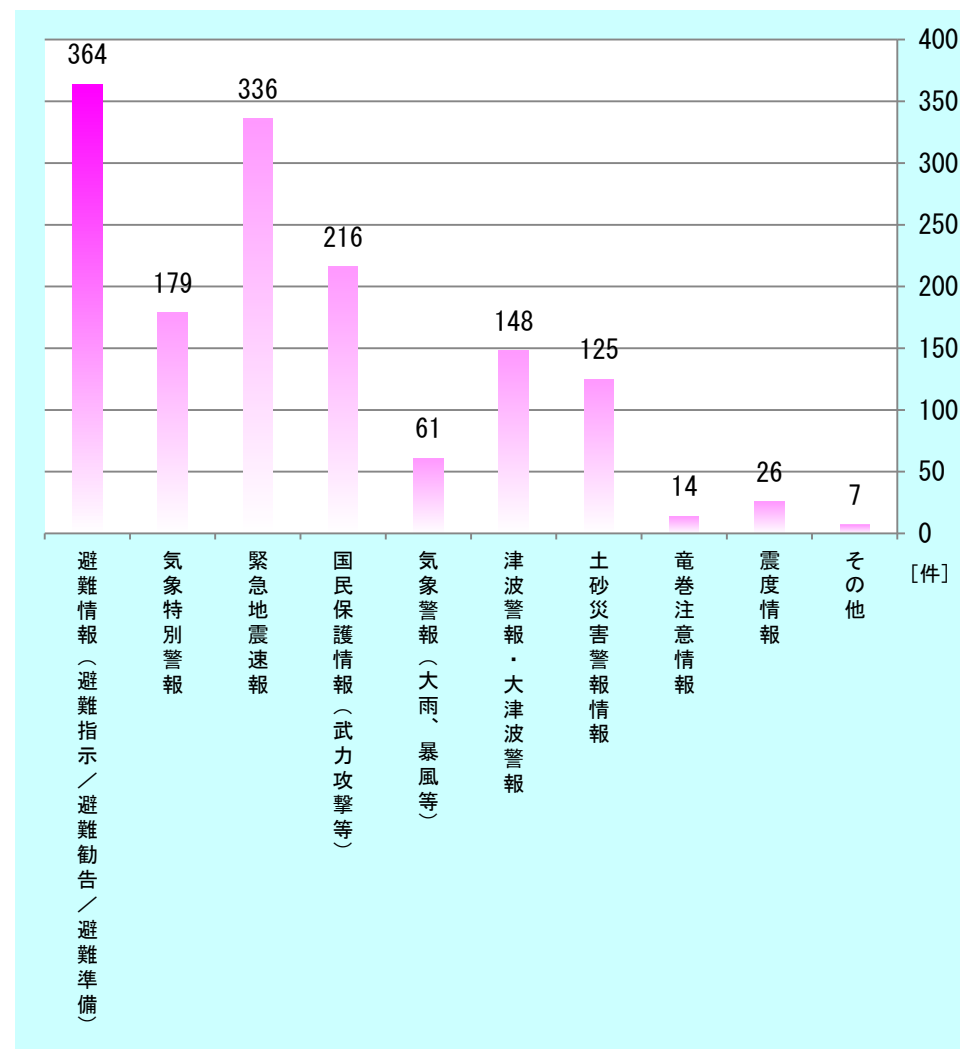
◇問13. 回答結果◇ (対象：問12特定回答者)

問13.	問12において「情報により対応が異なる」にチェックされた方にお聞きします。どのような情報は、施設内に直接伝えるべきとお考えでしょうか。該当する項目の口にチェックを付けてください。(複数回答可)	
13-1	避難情報 (避難指示／避難勧告／避難準備)	364
13-2	気象特別警報	179
13-3	緊急地震速報	336
13-4	国民保護情報 (武力攻撃等)	216
13-5	気象警報 (大雨、暴風等)	61
13-6	津波警報・大津波警報	148
13-7	土砂災害警報情報	125
13-8	竜巻注意情報	14
13-9	震度情報	26
13-10	その他 ※回答例は欄外記載	7
合計		1,476

※13-10 その他詳細 (回答例)

- ・パニックをおこさないよう事前に申し合わせ等が必要
- ・状況により対応が異なる
- ・立地の条件などを含め事案の危険度により異なる・・・等

◇問13. 回答件数グラフ◇



◇アンケート結果 施設系「非常放送設備の活用」について④

問14. 非常放送設備課題

◇問14. 回答結果◇ (対象：全対象)

問14.	「非常放送設備の活用」について、特に課題と思われる点に該当する項目の口にチェックを付けてください。(複数回答可)	
14-1	火災等と間違え、誤解を招く恐れがある。	385
14-2	他の手段のほうが良い、もしくは十分である。 ※回答例は欄外記載	67
14-3	施設毎に伝えるべき情報が異なるため、一律の情報提供は難しい。	356
14-4	施設管理者等の避難誘導を行う方がいるため、不要と考えている。	49
14-5	現状の手段で足りているので、特段課題はない	68
14-6	その他 ※回答例は欄外記載	83
合計		1,008

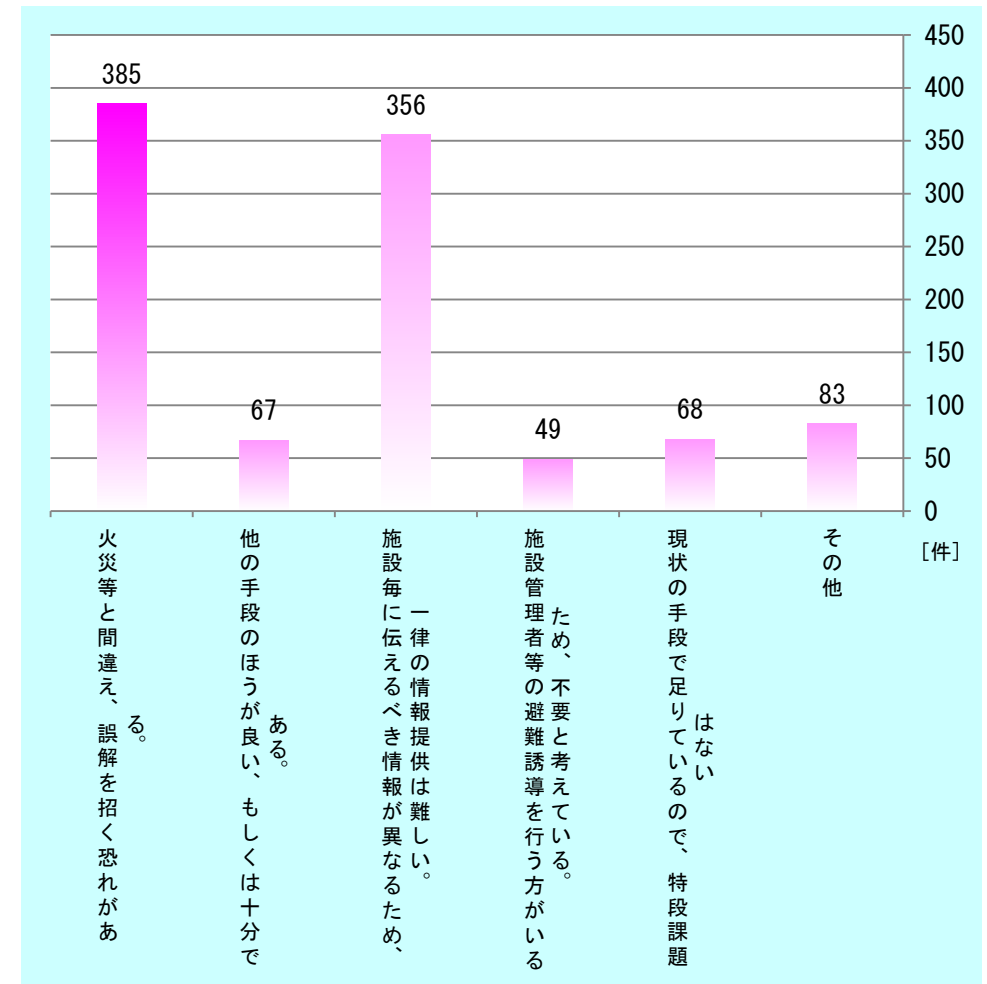
※14-2 他の具体的手段 (回答例)

- ・ 館内放送設備
- ・ 緊急速報メール
- ・ 戸別受信機
- ・・・等

※14-6 その他詳細 (回答例)

- ・ 費用
- ・ 人が多く集まる施設等では、混乱を招く恐れがある
- ・ 音量
- ・・・等

◇問14. 回答件数グラフ◇



◇アンケート結果 家屋系、施設系、共通の設問①

問15. 情報伝送路重要項目

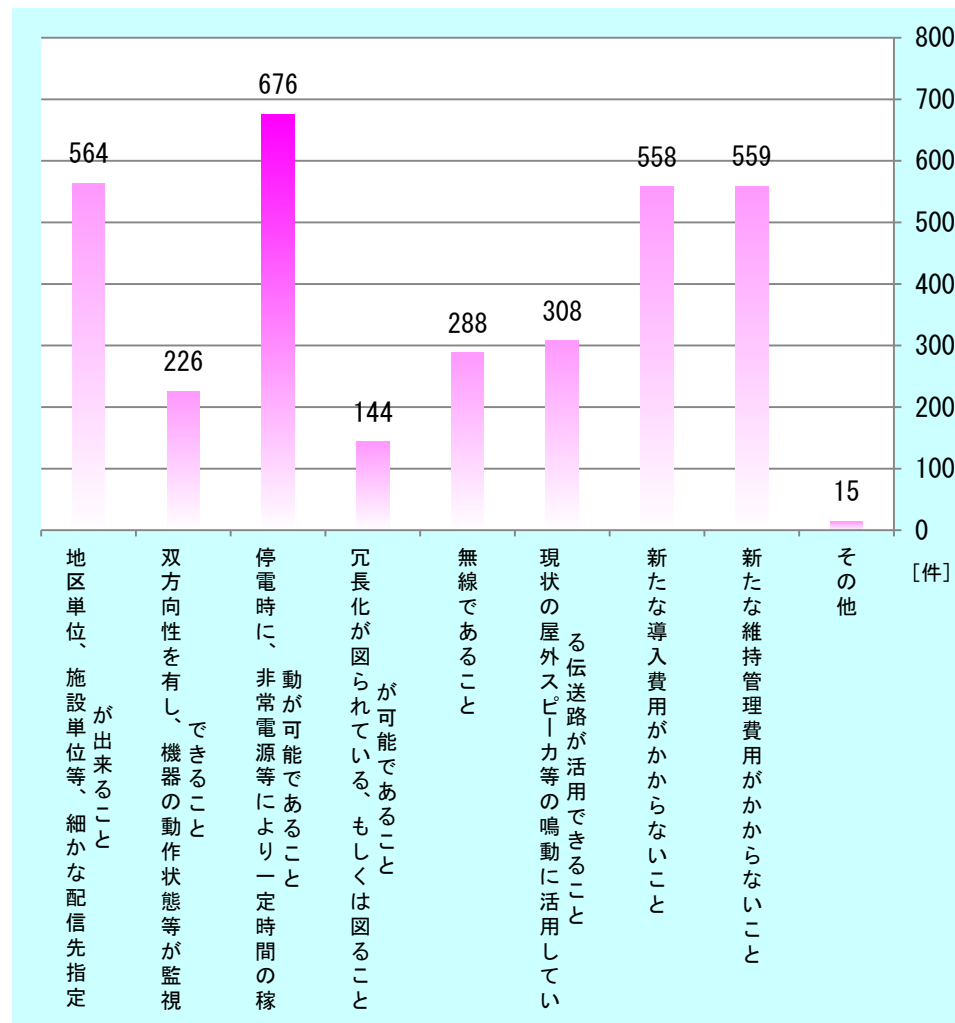
◇問15. 回答結果◇ (対象: 全対象)

問15.	自治体から屋内の消防設備まで情報を届ける伝送路（放送波、通信網等）について、その選定において特に重要視する項目の口にチェックを付けてください。（複数回答可）		
15-1	機能性	地区単位、施設単位等、細かな配信先指定が出来ること	564
15-2		双方向性を有し、機器の動作状態等が監視できること	226
15-3	耐災害性	停電時に、非常電源等により一定時間の稼動が可能であること	676
15-4		冗長化が図られている、もしくは図ることが可能であること	144
15-5		無線であること	288
15-6	経済性	現状の屋外スピーカ等の鳴動に活用している伝送路が活用できること	308
15-7		新たな導入費用がかからないこと	558
15-8		新たな維持管理費用がかからないこと	559
15-9	その他	その他 ※回答例は欄外記載	15
合計			3,338

※15-9 その他詳細（回答例）

- ・ J-アラート連動
- ・ 多数の手段を用意すること
- ・ 業務上の職員の負担が増えないこと . . . 等

◇問15. 回答件数グラフ◇



◇アンケート結果 家屋系、施設系、共通の設問②

問16. 防災情報連携先

◇問16. 回答結果◇

問16.	今回例示した消防設備に限らず、屋内への防災情報伝達にあたり、有効と思われる連携先について、該当する項目の口にチェックを付けてください（複数回答可）	
16-1	インターフォン	95
16-2	ガス漏れ警報器	94
16-3	見守りロボット	38
16-4	各種家電 ※回答例は欄外記載	343
16-5	その他 ※回答例は欄外記載	26
16-6	特になし	328
合計		924

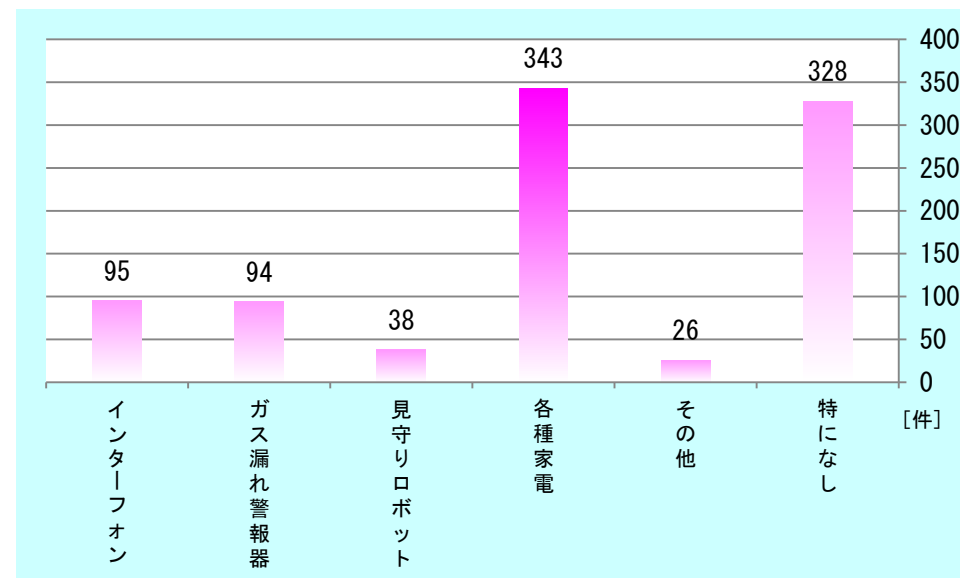
※16-4 具体的手段（回答例）

- ・ TV（自動起動）
- ・ 冷蔵庫
- ・ 固定電話
- ・ ラジオ
- ・ パソコン
- ・ ・ ・ 等

※16-5 その他詳細（回答例）

- ・ 固定電話
- ・ メール
- ・ 停電時でも確実に伝達できるもの
- ・ 携帯電話、スマートフォン
- ・ セキュリティシステム
- ・ ・ ・ 等

◇問16. 回答件数グラフ◇



◇アンケート結果 家屋系、施設系、共通の設問③

問17. その他意見

◇問17. 回答結果◇

問17.	屋内への防災情報伝達について、その他の課題や期待等がございましたら、ご意見をお願いいたします。（自由回答）
回答例	<ul style="list-style-type: none">○高齢者や障害者など誰でも使えること○難聴地区の解消○どのような状況下でも伝えられるような伝達の仕組み○住民一人一人が自ら情報を得ようとする意識○避難勧告、避難指示の意味の説明も盛り込む○エリアメールを活用○プッシュ型の情報伝達機能を有し、操作が簡便で、耐災害性の高い安価なもの○新たな中継機等を必要としない伝達システム○視覚や聴覚に障害を持っている方への伝達手段○家庭向けにテレビに連動させた情報伝達○携帯電話の電波が入らない地域への情報伝達○夜間、就寝中の伝達○施設によって必要な情報が異なってくるので、細かな情報対応が必要○人命に関わる内容であるため、迅速かつ正確な情報伝達体制○より安価で確実な伝達方法の開発○防災行政無線の音声が入らなると聞き取りづらいエリアがある○戸別受信機の1台あたりの値段が高額で、全戸設置は難しい○WiFi等の汎用の規格での屋内端末との連携の実用化○火災報知器のみで、その他の機器が屋内に必要なこと○固定電話から音声で流せる防災情報○財政との天びんの問題がある○停電時や電波網の輻輳時にも確実に情報伝達できる手段の確保○既設設備を有効利用し、コストメリットに優れる仕組み○設置工事が不要であること○タイムラグを生じないシステム <p style="text-align: right;">・・・等</p>